

私の父は消防団員

荒尾第三中学校 二年 女 堀川夏海

私の父は、地域の消防団に入っています。自分の仕事を持ちながら、時々、消防団の行事などに参加しています。私は、その行事について詳しく知ろうと思いい、父に聞いてみることにしました。

消防団の行事には、主に、七つの行事があります。一つ目は、年末夜間警備です。内容は、年末、火災予防のため消防車や歩行で近隣をパトロールをする、という内容です。二つ目は、年始出初式です。内容は、年の始めに荒尾市の消防団が、集合して行進や放水などをする式典です。この二つはどちらも、冬に行われます。父は毎年、この行事に出て、寒くないのかなあ、と思います。毎年、寒い寒いと言いなから出ていくけど、ちやんと出席しているの、えらいと思います。三つ目は、ポンプ操法訓練・競技です。これは、二年初一回、荒尾市でポンプ操法の競技をします。

四つ目は、消火栓・防火水槽・積載車整備で  
可。内容は、いつでも出動、消火活動ができ  
るように、三つの整備をすることです。五つ  
目は、火災消火活動です。実際、火災が起き  
た時に、消火活動をします。六つ目は、大雨  
時見回りで、大雨時に、川の氾濫はんらんや土砂く  
ずれが起きそうでないかパトロールをするこ  
とです。七つ目は、見守り隊参加です。見守  
り隊とは、月に一回、小学生といっしょに、  
下校をするこゝとです。消防団がそれに参加を  
します。

このような行事を父は毎年、繰り返してい  
ます。もちろん、父だけでなく、父と同じ団  
の人や、ほかの団、全国の団の人たちが消防  
署の人と協力してがんばっていると思います。  
また、消防団にはモットーがあり、父が教  
えてくれました。それは、「地域住民の生命  
と財産を守る為のボウンテイア活動」だそう  
です。一見、難しそうな言葉だけど、「ボウ  
ンテイア活動」と聞いて、消防署ではなく、

消防団という小さな団体でも、みんなて協力  
すれば、地域全体を守ることができるとな  
あ、と感じました。  
これから、ボランティア活動として、消防  
団に入っ、てくれる人がどんどん、増えてくれ  
るといいなあ、と思います。